

「気候変動研究会」特別集会

「気候変動に伴う大気環境変化と自治体の対応について」のお知らせ

大気環境学会「気候変動研究会」では大気環境学会・年会 3 日目の午前中に特別集会を開催する予定です（非会員の参加も可能）。国研・大学・地方環境研の大気環境学会・会員のみならず、適応策を策定し推進する自治体関係者の方の参加も歓迎します。

主催：大気環境学会・気候変動研究会

日時：2019年9月20日（金）（学会3日目）午前中 9:00-11:00

会場：大気環境学会会場（詳細は未定）

開催趣旨：平成30年6月に気候変動適応法が成立し、国内各自治体では主体的に気候変動に対する適応計画を策定することが求められている。国内各自治体の研究機関は、行政機関とともに気候変動の影響や適応計画を策定し、適応策を推進することが期待されている。大気環境学会には多数の地方環境研究所の会員が所属しているため、国研、大学、地方自治体関係者など多様なステークホルダー間で、気候変動緩和・適応に関する調査研究、及び、適応計画の策定に関する情報交換を行う。

プログラム（講演内容については変更の可能性もあります。）

- 1) 気候変動研究会の紹介
（国環研）高見昭憲
- 2) 気候変動に関する国立環境研究所の取り組み
（国環研）向井人史氏
- 3) 気候変動が日本の大気汚染にもたらす影響とその健康・植生へのインパクト評価
（国環研）永島達也氏
- 4) 長野県の気候変動と森林生態系の応答を評価する試み
（長野県環境保全研究所）栗林正俊氏
- 5) 気候変動に関する埼玉県の取り組み
（埼玉県環境科学国際センター）原政之氏
- 6) 気候変動およびエアロゾルが水稻生産に及ぼす影響の評価
（茨城大学）増富祐司氏
- 7) 総合討論

本件に関するご質問などは大気環境学会事務局、あるいは、研究会代表者までお願いします。

気候変動研究会・代表・高見昭憲（国環研）（takamia@nies.go.jp）